

1200名を超すOB、留学生が集い交流を深める ～平成23年度福岡支部総会開催～ 経済学部同窓会



経済学部同窓会では、6月3日(金)、福岡市・博多都ホテルにおいて平成23年度福岡支部総会を開催した。当日は、来賓として酒匂一郎法学研究院長を迎え、石橋英治関西支部長、淵上敏晴東京支部長、問をはじめとする東京・関西両支支部役員、貴正義福岡支部長をはじめとする福岡支部役員、名誉教授の先生方、山本健児経済学研究院長をはじめ現役の先生方、同窓生、中国等からの留学生等の在学生等々1200名以上が参加した。

同窓会連合会からも、九大広報第68号や、九州大学生涯メールアドレスサービスのご案内、九大オリジナルグッズのご案内、百周年記念事業のご案内等の資料のご提供をいただいた。

当日は、福岡支部の総会案件が審議され、原案通り承認された。福岡支部では霧川洋副支部長が退任し、貞刈厚仁氏(昭和52年卒)が選任された。他の役員は留任。福岡支部の今年度活動として、総会・役員会等の開催とともに、

2カ月に1回のサロン会開催や半年に1回の交流ゴルフ会、若手交流会の適宜開催等の事業計画も原案通り承認された。

その後、山本研究院長より、「九州大学大学院経済学研究院の現況」についての特別講演があった。山本研究院長は、経済・経営・経営工の学科毎、男女、留学生、大学院生など多角的に学生、大学院生の就職や進路について、新たな視点で分析、考察され、今後の経済学部、同窓会の行方について示唆に富んだ講演をされた。

続く懇親パーティでは、上記来賓や参加者のご紹介の後、懇談に移り、中国等からの留学生の紹介の後、学生歌「松原に」を全員で合唱した。当日は博多祇園山笠の期間中でもあり、貴支部長を嶋田正明運営委員(昭和54年卒)、梅原晋運営委員(昭和59年卒)が山笠の長法被姿で囲み、貴支部長が堂々とした博多手一本を入れて会を終えた。



(経済学部同窓会福岡支部 嶋田正明運営委員
昭和54年経済学部経済科卒)

農学部同窓会定例会議

平成23年6月4日(土)、農学部同窓会評議員会・定期総会を九州大学国際ホールで開催した。本会には国内に16支部、海外に6支部があり、例年この会議が支部長を含めた同窓会員が一堂に会する機会となっている。会議では各支部の近況報告や留学生奨学金の授与式も行われる。一方、農学研究院でも、研究院長と支部長との懇談の場が設けてあり、他の講演会や会合もこの機会を利用して開催されることがある。さらに、午後には模擬店形式の懇親会が開催される。



辛韓国支部長の年次報告

長の体制が整った。決算等の報告後、次年度の入学者がら在籍学生も正会員に含めるという規約改正、およびミヤンマー支部設立が認められた。次いで、インターネットによる会員情報利用システムの運用と整備を初めとする次年度の事業計画が承認された。

農学部同窓会では、ここ数年、屋内でのクローズドな懇親会を止めて、参加者を会員に特定しない屋台形式の会を開催してきた。屋台を運営するのは業者ではなく、学生諸君やボランティアである。それが「うまいもん同窓会」である。本年は第4回であり、昨年に比べ規模は小さめであったが、夕刻まで大いに盛り上がり、懇談と親睦の実を上げることができた。

(農学部同窓会庶務担当常任理事 麻生陽一
昭和46年農学部農芸化学科卒)



第4回うまいもん同窓会